

令和3年度 1月号



学校
だより

横浜市立今宿小学校

<今宿小学校学校教育目標>

☆☆育てたい「いまじゅくの子」☆☆

- い ○いきいきとした心と体をつくる子（体）
- ま ○学びをいかそうとする子（知）
- じ ○自分とみんなを大切にする子（徳）
- ゆ ○ゆめをもち人の役に立とうとする子（公）
- く ○くらしをよりよくしようとし世界に目を向ける子（開）



今宿小学校
WEB ページへ

新たな取組に向けて

校長

あけましておめでとうございます。まだまだ予断を許さない状況ではありますが、それぞれのご家庭ではいかがお過ごしでしたでしょうか。昨年よりは幾分か落ち着いた新年を迎えられたのではないのでしょうか。

さて、年末にお願いしました学校評価アンケートの結果をまとめています。保護者の皆様の思いを感じました。ご協力ありがとうございました。今後も横浜市ガイドラインに沿って「できることを精一杯」取り組んでいきたいと思っております。アンケート結果を参考に、また、児童アンケートの結果も踏まえて来年度に向けて新たな取組を検討し始めています。

一つは、テスト採点やドリルのAI化です。AI化することで生み出された時間を授業準備などに有効活用するとともに、児童が積極的にICTを活用することによって、学力の向上を図っていきたく考えています。

一つは、健康観察のペーパーレス化です。新年度からスマホを使って連絡できるようにと検討し、準備を進めているところです。

また、可能な体験的学習を模索したいと考えています。教師と児童だけで授業をするより様々な人・もの・ことと関わりながら進めると、感じることや考えることの深みが違ってきます。12月に行った人権週間では、各学年が講師を招いたり関係機関から映像資料をお借りしたりして取り組みました。本物から学ぶよさが体験的学習にはあります。各学年の人権週間の振り返りを読みましたが、どれも素晴らしい気づきが記されていました。以下に6年生の「男らしさ、女らしさって何？」（人権週間の取組）の感想を紹介します。

動画を見る前は男の人がスカートをはいているのはおかしいと思っていたけれど苦しんでいる人もいることを知って自分らしく生きることも大切だと思いました。

今まで「普通」「当たり前」など自分にとってのことが世の中の「普通」「当たり前」と思っていたけれど、それは違うしその当たり前も人によって違うという事が分かった。自分らしさを隠さなくてよい環境を作れるようになれたらいい。

～身近な疑問から～

『はじめちよろちよろ 中ぱっぱ』って何ですか？」5年生の家庭科の時間、鍋を使った炊飯の仕方について学習した後、ある児童が私に尋ねてきました。お米の炊き方を歌にして伝えているのですが、詳細についてはよく知りませんでした。そこで調べてみると、いろいろな解釈があることが分かりました。そもそも言い伝えなのだから「正解」がないのかもしれませんが、でも、教科書に書いてある手順と比べていくと、「これが近い。」というものがあり、納得することができました。

児童の一言で調べ始めたことですが、新しいことを知るといのはいくつになっても嬉しいものです。自主学习で、身近な疑問について調べる児童もいると思いますが、時々お子さんと一緒にゆっくり調べてみるのも良いのではないのでしょうか。

教務主任